

平成 25 年 5 月 27 日

内閣府公共サービス改革推進室

民間競争入札実施事業
経済産業研究所データベース業務の評価（案）

競争の導入による公共サービスの改革に関する法律（平成 18 年法律第 51 号）第 7 条第 8 項の規定に基づく標記事業の評価は以下のとおりである。

I 事業の概要等

1 実施の経緯及び事業の概要

独立行政法人経済産業研究所（以下「RIETI」という。）が実施する「経済産業研究所データベース業務」については、公共サービス改革基本方針（平成 23 年 7 月 15 日改定を閣議決定）において、競争の導入による公共サービスの改革に関する法律に基づく民間競争入札（以下「民間競争入札」という。）を実施することを決定した。これを受けて RIETI は官民競争入札等監理委員会の議を経て定めた「経済産業研究所データベース業務民間競争入札実施要項」（以下「実施要項」という。）に基づき、民間競争入札を実施し、受託事業者を決定した。その概要は以下のとおりである。

事 項	内 容
業務内容	・日本産業生産性データベース（Japan Industrial Productivity Database：JIP）基礎資料の収集・入力業務（平成 24 年度及び 25 年度公表資料の 2 回年度分）の実施 ・RIETI Trade Industry Database（RIETI-TID）の更新（平成 23 年度～25 年度公表資料の 3 回年度分）・公開業務の実施
契約期間	平成 23 年 12 月 28 日から平成 26 年 3 月 31 日までの 2 年 4 か月間
受託事業者	株式会社 価値総合研究所
契約金額	21,000,000 円（税抜）
実施にあたり確保されるべきサービスの質	① JIP 基礎資料及び RIETI-TID の基礎となる統計データを誤りなく入手すること。 ② JIP 基礎資料を指定の方法に従って適切に入力すること。 ③ RIETI-TID の基礎となる統計データを指定の方法に従って加工及びデータベース化し、それを公開するとともに、データベースのサーバーを適切に管理すること。 ④ 納品後契約期間内に誤りが確認された場合、民間事業者は全てのデータを再検証した上で誤りを修正し、再度納品すること。 ⑤ 当研究所が定めたスケジュールを厳守すること。

2 受託事業者決定の経緯

2 者から提出された企画書について審査した結果、1 者は実施体制及び経理基盤に関する必須要件を満たしていなかった。他の 1 者は必須審査項目を満たしており、入札価格については予定価格の範囲内であったことから、平成 23 年 12 月 26 日に開札を実施し、総合評価により、上記の者が落札者となった。

II 評価

1 評価方法について

RIETI から提出された平成 23 年 12 月から平成 25 年 3 月までの実施状況についての報告（別添）に基づき、サービスの質の確保、実施経費等の観点から、事業の評価を行うものとする。

2 対象公共サービスの実施内容に関する評価

（1）対象公共サービスの質の確保

ア 実施結果

評価期間中（平成 23 年 12 月～平成 25 年 3 月、以下同じ。）に実施された平成 23 年度分及び平成 24 年度分の JIP 基礎資料の収集・入力、RIETI-TID の更新・公開業務の実施結果は、次表のとおり。

確保すべき対象公共サービスの質	平成23年度分 (平成23年12月～平成24年3月)	平成24年度分 (平成24年4月～平成25年3月)
①JIP 基礎資料及びRIETI-TID の基礎となる統計データを誤りなく入手すること。	【JIP】 ・前回契約分に含まれていたため、作業なし。 【RIETI-TID】 ・入手したデータに過誤はなかった。	【JIP】 ・入手したデータに過誤はなかった。 【RIETI-TID】 ・入手したデータに過誤はなかった。
② JIP 基礎資料を指定の方法に従って適切に入力すること。	・前回契約分に含まれていたため、作業なし。	・データ入力に過誤はなかった。
③ RIETI-TID の基礎となる統計データを指定の方法に従って加工及びデータベース化し、それを公開するとともに、データベースのサーバーを適切に管理すること。	・加工されたデータに特段の過誤はなかった。 ・作成されたデータベース、検索ツールに過誤はなかった。 ・RIETI-TIDは委託業者が所有する機材に構築され一般公開を実施。そのデータも適正に管理・運用されている。	・加工されたデータに特段の過誤はなかった。 ・作成されたデータベース、検索ツールに過誤はなかった。 ・RIETI-TIDは委託業者が所有する機材に構築され一般公開を実施。そのデータも適正に管理・運用されている。

④ 納品後契約期間内に誤りが確認された場合、民間事業者は全てのデータを再検証した上で誤りを修正し、再度納品すること。	【JIP】 ・前回契約分に含まれていたため、作業なし。	【JIP】 ・最終納品は、平成25年3月5日。 ・データ入力に過誤はなかった。
⑤ 当研究所が定めたスケジュールを厳守すること。	【JIP】 ・前回契約分に含まれていたため、作業なし。 【RIETI-TID】 スケジュール通り納品された。 ・平成24年3月5日	【JIP】 スケジュール通り納品された。 ・第1回：平成24年8月20日 ・第2回：平成24年10月30日 ・第3回：平成25年3月5日 【RIETI-TID】 スケジュール通り納品された。 ・平成25年3月5日

イ 評価

確保されるべき対象公共サービスの質はいずれも達成されたと評価できる。

したがって、平成25年度分についても、確保されるべき対象公共サービスの質は達成されるものと期待できる。

(2) 実施経費

1回年度分の実施経費（落札額のうち平成24年度に支払った金額）は、従来の実施経費12,619,000円（平成20年度の委託経費、但し、JIP基礎資料の収集・入力業務分については当該業務に係る謝金支払額からの推計値）の約65%に相当する8,180,000円であり、1年あたり4,439,000円の経費節減（約35%）となる。

また、前回事業（平成21年度契約分）の実施経費29,460,000円と本事業（平成23年度契約分）の実施経費21,000,000円を比較した場合、8,460,000円の経費節減（約28.7%）となる。

従来経費 平成20年度	平成23年度 (平成23年12月～ 平成24年3月)	平成24年度 (平成24年4月～ 平成25年3月)	平成25年度（予定） (平成25年4月～ 平成26年3月)	契約期間合計 (平成23年12月～ 平成26年3月)
¥12,619,000	¥4,640,000	¥8,180,000	¥8,180,000	¥21,000,000

3 評価のまとめ

確保すべきサービスの質は達成されていることから適切に事業が実施されていると評価できる。経費節減も図られていると評価できる。

今回の入札では2者の応札があったが、前回事業においては3者による入札であったことから、総合的に判断して、競争性は確保されたものと評価できる。ただし、必須審査項目をすべて満たしていたのは1者のみであったことから、入札参加者を増やすことに努める必要があると考えられる。

4 今後の事業

本事業は、前回事業においては3者による入札であったことから、別添の「経済産業

研究所データベース業務の実施状況（平成 23 年 12 月～平成 26 年 3 月）について」に記載されているとおり、①公告期間を長く設定することで業者側の参加検討・準備期間に余裕を持たせるようにすること、②落札者に対し既に稼働しているシステム情報を可能な限り提供することで優位性を軽減することで、更なる複数者の応札が期待できるところである。このため、次期事業においては、RIETI にて実施状況報告についての外部有識者によるチェック体制を整え、新プロセスへ移行した上で、事業を実施することが適当であると考えられる。

以上

平成 25 年 5 月 21 日
独立行政法人経済産業研究所

【民間競争入札実施事業】

経済産業研究所データベース業務の実施状況
(平成 23 年 12 月～平成 26 年 3 月) について

I 事業の概要

1. 事業概要

データベース業務は、日本産業生産性データベース (Japan Industrial Productivity Database : JIP) 基礎資料収集・入力業務と RIETI Trade Industry Database (RIETI-TID) 作成等業務の 2 つを行うもの。

- ・ JIP 基礎資料収集・入力業務 : JIP を作成するための基礎データを収集・入力するもの。
- ・ RIETI-TID : 国連が作成している COMTRADE のデータを基に作成された二次加工統計を作成するもの。

2. 契約期間

平成 23 年 12 月 28 日から平成 26 年 3 月 31 日

3. 受託事業者

株式会社 価値総合研究所

4. 契約金額

21,000,000 円 (税抜)

※ 業務委託期間(平成 23 年 12 月 28 日から 26 年 3 月 31 日の 2 年 4 ヶ月間の総額)

5. 受託者決定の経緯

「経済産業研究所データベース業務民間競争入札実施要項」に基づき公告したところ 2 者から応札があった。入札参加者 (2 者) から提出された企画書について平成 23 年 12 月 21 日に審査した結果、うち 1 者については実施体制及び経理基盤に関する必須要件が不十分であったため不採択となった。必須審査項目を満たしていた 1 者については、質 (企画内容) に関する評価点を付与した。更に同月 26 日に開札したところ、予定価格を下回っていたことから当該事業者と契約を締結したものの。

Ⅱ 確保されるべき質の達成状況、業務の実施状況及び評価（平成 23 年度・平成 24 年度：平成 23 年 12 月～平成 25 年 3 月）

1. JIP 基礎資料及び RIETI-TID の基礎となる統計データを誤りなく入手すること。

（1）実施状況

確保すべき対象公共サービスの質	平成23年度 (平成23年12月～平成24年3月)	平成24年度 (平成24年4月～平成25年3月)
【JIP】 ・ JIP基礎資料の統計データを誤りなく入手する	・ 作業なし ※前回契約分に含まれていたため	・ 統計データ入手に過誤なし
【RIETI-TID】 ・ RIETI-TIDの作成に伴い基礎資料を誤りなく且つ、最新時点のデータを入手	・ 入手したデータには過誤はなかった	・ 入手したデータには過誤はなかった

（2）評価

【JIP】

- ・ 統計データ入手については、4 年目に入ったこともあり、取得不可能なデータがあった場合には事前に連絡があるなどスムーズに実施された。

【RIETI-TID】

- ・ データ入手に関しては、1 年目、2 年目ともにスムーズな対応がなされ、満足する結果を得た。

2. JIP 基礎資料を別添 2 の方法に従って適切に入力すること。

（1）実施状況

確保すべき対象公共サービスの質	平成23年度 (平成23年12月～平成24年3月)	平成24年度 (平成24年4月～平成25年3月)
【JIP】 ・ JIP基礎資料を適切に入力する	・ 作業なし ※前回契約分に含まれていたため	・ 統計データ入力に過誤なし。

（2）評価

【JIP】

- ・ 統計データ入力については、過誤なく実施されていた。

3. RIETI-TID の基礎となる統計データを別添3の方法に従って加工及びデータベース化し、それを公開するとともに、データベースのサーバーを適切に管理すること。

(1) 実施状況

確保すべき対象公共サービスの質	平成23年度 (平成23年12月～平成24年3月)	平成24年度 (平成24年4月～平成25年3月)
【RIETI-TID】 ・RIETI-TIDの作成にあたり、国別、地域毎に過誤なくデータを加工	・加工されたデータに特段の過誤はなかった。	・加工されたデータに特段の過誤はなかった。
【RIETI-TID】 ・データベース及びそれを用いた検索ツールの作成	・作成されたデータベース、検索ツールに過誤はなかった。	・作成されたデータベース、検索ツールに過誤はなかった。
【RIETI-TID】 ・RIETIのHPからデータベースを公開し、そのデータベースを過誤なく管理	・RIETI-TIDは委託業者が所有する機材に構築され一般公開を実施。そのデータも適正に管理・運用されている。	・RIETI-TIDは委託業者が所有する機材に構築され一般公開を実施。そのデータも適正に管理・運用されている。

(2) 評価

【RIETI-TID】

- ・データベースの管理・運用は、トラブルの報告もなく適正に運用されている。

4. 納品後契約期間内に誤りが確認された場合、民間事業者は全てのデータを再検証した上で誤りを修正し、再度納品すること。

(1) 実施状況

確保すべき対象公共サービスの質	平成23年度 (平成23年12月～平成24年3月)	平成24年度 (平成24年4月～平成25年3月)
【JIP】 ・納品後契約期間内に誤りが確認された場合、全データ再検証し修正後、再納品	・作業なし ※前回契約分に含まれていたため	・最終納品は、平成25年3月5日。 ・統計データ入力に過誤なし。

(2) 評価

【JIP】

- ・統計データ入力については、過誤なく実施されていた。

5. 当研究所が定めたスケジュールを厳守すること。

(1) 実施状況

確保すべき対象公共サービスの質	平成23年度 (平成23年12月～平成24年3月)	平成24年度 (平成24年4月～平成25年3月)
【JIP】 ・当研究所が定めるスケジュールの厳守	・作業なし ※前回契約分に含まれていたため	スケジュール通り納品 ・第1回：平成24年8月20日 ・第2回：平成24年10月30日 ・第3回：平成25年3月5日 (実績の測定時期) ・各納品日
【RIETI-TID】 ・当研究所が定めるスケジュールの厳守	スケジュール通り納品 ・平成24年3月5日	スケジュール通り納品 ・平成25年3月5日

(2) 評価

【JIP】

- ・平成25年3月上旬現在、スケジュール通りの納品が行われており、評価できる。

【RIETI-TID】

- ・スケジュールどおり順調に実施されたことから満足出来る結果であった。

Ⅲ 実施経費

平成23年度・平成24年度（平成23年12月～平成25年3月）の経費と従来の実施経費（平成20年度の委託経費、但し、JIP基礎資料の収集・入力業務分については当該業務に係る謝金支払額からの推計値）の比較は以下の通りである。

(1) 実施状況

従来経費 (平成20年度)	平成23年度 (平成23年12月～ 平成24年3月)	平成24年度 (平成24年4月～ 平成25年3月)	平成25年度（予定） (平成25年4月～ 平成26年3月)	契約期間合計 (平成23年12月～ 平成26年3月)
¥12,619,000	¥4,640,000	¥8,180,000	¥8,180,000	¥21,000,000

(2) 評価

前期契約に比べ、コスト削減に繋がっている。

契約金額の比較（金額はいずれも税抜）

平成 21 年度「経済産業研究所データベース業務」	契約総額：29,460,000 円
平成 23 年度「経済産業研究所データベース業務」	契約総額：21,000,000 円
(前回契約比 8,460,000 円・28.7%削減)	

IV 評価のまとめ

【JIP】

- ・確保すべき対象公共サービスの質については、過誤なく実施され、当研究所が定めるスケジュールが厳守されたことは評価できる。

【RIETI-TID】

- ・確保すべき対象公共サービスの質については、当研究所が定めるスケジュールよりも早めの納品などの対応は評価できる。

(全体評価)

- ・JIP、RIETI-TID の各業務自体では、確保すべき対象公共サービスの質を確保しており評価できる。また、実施経費については、各年度ともに、前期契約（平成 21 年度）に比べ、コスト削減に繋がっており、評価できる。
- ・経費の削減は図られたものの、平成 21 年度の本件募集の際に、①RIETI-TID の予算規模（400 万円（税込））を契約上限額と明示していること、②業務の性質が請負に近く、サーバー等について初期投資も必要であることから、費用面で過去に当該業務の受注実績がある業者の優越性が大きいため、競合しても落札の可能性が極めて低いとの判断した業者が多かったことから 1 者応札となったことが考えられる。前回の入札では 3 者の応札があったこともあり、①落札者に対し既に稼働しているシステム情報を可能な限り提供することで優位性を軽減すること、②公告期間を長く設定することで業者側の参加検討・準備期間に余裕を持たせるようにすることで、複数者の応札が期待できるところである。
- ・このため、次期事業においては、実施状況報告についての外部有識者（現時点では経済産業大臣により任命された弊所監事を想定している）によるチェック体制を整え、新プロセスへ移行した上で、事業を実施することとしたい。

以上